

地方農政局等における事業評価総括表（推進事業）

（山梨県）

| 分野 | メニュー（取組名） | 成果目標 | 事業実施地区数 | 評価対象地区数 | 成果目標の達成率 | 評価対象外の地区がある場合その理由 | 地方農政局の所見 | |
|----------|-------------|-------------------------|---------|---------|----------|-------------------|----------|----------------|
| | | | | | | | 改善指導の必要性 | |
| 産地競争力の強化 | 力強い酪農経営復興対策 | 県内酪農家の生乳生産の回復による経営圧迫の緩和 | 1 | 1 | 94% | — | 無 | 成果目標をおおむね達成した。 |

1. 推進事業(産地競争力の強化及び経営力の強化)

| 事業費(要望額) 1,370,318円(うち交付金1,305,065円) | | 都道府県名 | | 山梨県 | | |
|--|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----|--|
| | | 事業実施年度 | | 平成23年度 | | |
| 現状と課題(※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。) | | | | | | |
| 茨城・栃木両県の乳業工場の被災に伴い、関東生乳販売農業協同組合連合会によっても補償が実施されたため、県内の酪農家は県生産者団体を通して補償金を徴収された。別途8月に中央酪農会議等から義援金が県生産者団体に対して支給されたが、県内酪農家の経営圧迫は解消されていない。 | | | | | | |
| 課題を解決するため対応方針(※上記の課題に対応させて記述すること。) | | | | | | |
| 粗飼料供給を支援し、生乳生産の回復を図ることによって、とも補償の実施で発生した県内酪農家の経営圧迫を緩和する。 | | | | | | |
| 都道府県における目標関係 | | | | | | |
| 取組名 | 成果目標 | 事業実施後の状況 | | | | 備考 |
| | | 計画時 | 実施後 | 目標 | 達成率 | |
| 力強い酪農経営復興対策 | 県内酪農家の生乳生産の回復による経営圧迫の緩和 | 平成22年度の生乳生産量 13,602トン | 平成24年度の生乳生産量 12,787トン | 平成24年度の生乳生産量 13,602トン | 94% | 目標値(H22年度) 生乳生産量 13,602トン 実績値(H24年度) 生乳生産量 12,787トン |
| 事業実施地区数 | | 総合所見 | | | | |
| 1 | 今回の事業実施により、徴収されたとも補償分に対して支援をすることができた。また、本県では、酪農家1戸当たりの生乳生産量は、22年度の234トンから24年度は245トンに5%程度増加しているものの、後継者不足などの理由で農家戸数が約1割減少したことから、結果として、目標を達成できなかった。このため、本県としては、県内酪農の担い手育成支援を行うほか、酪農家ごとに現場での指導等を行っていく。 | | | | | |

(注) 1 別紙様式1号に準じて作成すること。

2 「総合所見」欄については、評価実施年度を取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

(別紙様式2号 別添1)

都道府県内における推進事業取組実施状況一覧表(産地競争力の強化及び経営力の強化)

| 取組名 | 事業実施主体名 | 計画策定時 | 事業実施後(目標年度) | | 目標(平成24年度) | | 事業費(円) | 負担区分(円) | | | | 目標達成状況 B/A×100 | 事業主体等による評価結果 | 都道府県による点検評価結果(所見) |
|-------------|------------|--------------------------|--------------------------|---|--------------------------|---|-----------|-----------|-------|------|--------|-------------------|--|--|
| | | 被災前 22年度 | 実績値 | 事業実績 | 目標値 | 具体的な事業内容(計画) | | 交付金 | 都道府県費 | 市町村費 | その他 | | | |
| 力強い酪農経営復興対策 | 山梨県酪農業協同組合 | 平成22年度の生乳生産量 13,602トン | 平成24年度の生乳生産量 12,787トン | 平成23年度の県内酪農家の粗飼料購入を支援したが、24年度の生乳生産量は目標値を下回った。 | 平成24年度の生乳生産量 13,602トン | 粗飼料供給を支援し、生乳生産の回復を図ることによって、とも補償の実施で発生した県内酪農家の経営圧迫を緩和する。 | 1,370,318 | 1,305,065 | | | 65,253 | 94% | 粗飼料購入に対する支援を受けたが、県内酪農経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、生乳生産量は被災前を上回ることができない。 | 今回、とも補償分に対して支援したが、目標値の生乳生産量は達成できなかった。今後は、より効率的な酪農経営ができるよう、県内生産者団体を通して指導等を行う。 |
| - | - | | | - | | - | 1,370,318 | 1,305,065 | | | 65,253 | - | - | - |

(注) 1 別紙様式1号の別添1に準じて作成すること。

2 「都道府県による点検評価結果(所見)」には、都道府県としての事業実施主体ごとの目標達成状況に関する評価を記載するとともに、目標未達成の場合には改善措置の指導の必要の有無を含めた今後の改善指導方策を記載する。